

北辰 13期生
119回 2016 11.23
「歩こう会」

フォト・プレス

茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

錦秋の 葛城の道を歩く

11月23日9時50分近鉄御

所駅集合。参加者は坂野さん、岡田さん、谷村さん、連4名。天候も曇天ながら時々陽が差す。まあまあ歩き日和です。

10時発の奈良交通臨時バスで一言主神社へ。葛城の大神、一言主神は願いごとを一言だ



け聞いてくれる神様でこの20mの大いちょうの乳房が垂れたような気が

根は庄巻

本殿でお参りするお二人はひとこ



と何をお願いしたのでしょ
うか？
この後、バスで高鴨神社へ私達は九品寺へ徒歩で



遥か彼方には奈良盆地が広がりとつ臥傍山も見えました。



九品寺は行基開創の古刹で南朝軍に投じた兵を慰霊する為の千体石仏があります。本堂裏の坂道に出ると斜面にカラフルな前かけをかけた石仏がずらり並んでます。裏山頂上までは登山道が狭い村道を縫うように登って行きました。



れず途中で引き返し次の目的地、高天彦神社へ。コミニティバスは狭い村道を縫うように登って行きました。

高天彦神社は豪族葛城氏の祖神を祀り背後の裏山がご神体。山野辺の道にある大神神社と同じです。



お参りをして高鴨神社に向かって野道を下りました。柔らかい青草を踏んで歩くと自然に昔、子供の頃歌った童謡が思い出されます。♪おててつないで野道を行けば・・・♪



野道は森へと消えて行ってます。何処へ行くのか探検してる感じでワクワク

クしながら歩きます。動物除けの金網をあげて入った所は鬱蒼たる杉林。



落ち葉が積もった林道はまるで絨毯の上を歩くようで足の裏も喜んでいきます。



ここが下から登って来た高天彦神社の参道入り口です。



舗装された村道筈しばらく歩くとやっと高鴨神社に着きました。この地の豪族、鴨氏の氏神社。京都の加茂上下社もここが本家に当たるそうです。丁度七五三のお祝いの子供連れで賑わってました。参詣し、少し野道を下った所で休憩中の一言主神社で別れた坂野さん、岡田さんと合流しました。本日の終点、風の森バス停はもうすぐです。

幹事の坂野さんありがとう。